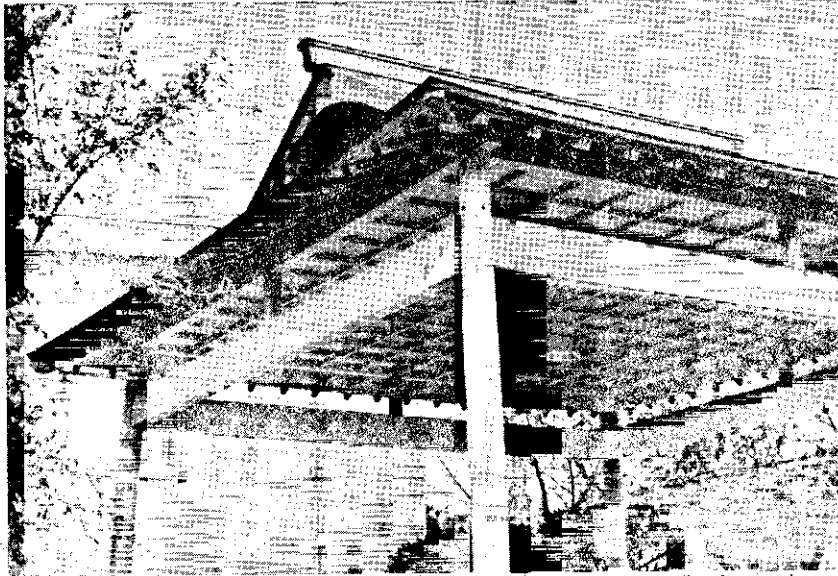


報 行 部
島 三 小 育 友 会
発 報 部
広 報 部

〔第63号〕

が ん ば

土俵場完成



照明設備も完備した土俵場

土俵開きを終えて

育友会長 前 山 四 郎

九月五日、台風一過の秋晴れの日、島原市長・教育長始め、多数の御来賓の方々の出席の元に、由緒ある吉田司家によって、古式にのっとった方屋（土俵）開きを行い、子供さん達の紅白に分かれての相撲大会がお父さん、お母さん達の歓声の中で行われまし。この様子は各新聞の地方欄をも賑あわせました。

老朽校舎の焼失の翌朝、授業の正常化の為に学校と育友会が一体となつての努力の姿が新聞に記載された事も記憶に古くはありませぬ。春の運動会・新校舎建設・落成式・バザーの賑わい・二百萬円を越す益金・記念事業の為の会議の数々、土俵建設決定と苦しい中にも楽しい行事の数々でした。さて、土俵を作る事は代議員会で決定したものの、どのような土俵をとの話になりましたが、銅板で屋根を葺き、桧材を使用した土俵を作る事になりました。屋根の形が明確でない、ならば熊本の吉田司家へお伺いしてみようとおっとりがたなの訪問でしたが、小学校で土俵を作るの

ならと二十四世追風（司家御当主）から方屋の作り方を丁寧にお教えたいただき、屋根の設計図をいただきました。色々相撲にまつわる話をおききし、土俵の事を方屋という事まで聞いて帰りました。工事は代議員の熊本さんの手で進められ、順調に進みました。が、方屋開きを九月五日と決定し、吉田家にも連絡しました後、台風接近、海も渡れるのか、陸路ではどうかとテレビと腕めつこ、校長先生の三小の行事に雨はありませんの言葉思い出し、四月、三角經由で熊本へ渡りました。新校舎と方屋は運動場を伴にして向いあつておりますが、「より良い物を子供さんに」を合い言葉に、地域の各方面の方々から物心ともに御協力を頂き、深く感謝申し上げます。

教頭先生はじめ、諸先生方がまわしをしめて、子どもさん方に胸を貸していらっしやいます。が、方屋が触れ合いの場として、体力向上の場として、また礼節の場として活用される事を望んでやみませぬ。

さらにスポーツ振興を

環境部長 高 原 寿 一

このたび、皆様方の御尽力により、土俵も完成し、吉田司家をお招きして方屋開きも滞りなく行われました事は、真に御同慶にたえません。思えばバザーに始まり、資金集めに回られた会長さん始め三役の方々、また、利益を無視して材料提供、施工された工事関係者の方々、その御苦勞には計り知れないものがございます。おかげをもちまして、九州一円どこにもひけをとらないと自負出来る立派な土俵が出来あがりました。足腰の強化はすべてのスポ

ーツの基本であると申します。今後は、子供達の心身の鍛練は勿論のこと、健全なスポーツの振興の為、地域の皆様も大いに活用していただきたいと思ひます。体育部の行事が、また一つふえてお忙しいでしょうが相撲大会など如何でしょうか？御検討頂ければ幸いです。落単ではございますが、落成を期に、皆様方に感謝申し上げますと共に、土俵管理をも含めて今後とも御協力下さいますよう、宜敷くお願い申し上げます。

相撲の思い出

白山公民館 江川 照 男

今夏、多くの方々のご協力により、母校三小に立派な土俵が完成し、子供達の元気な歓声を聞くたび昔のことが思ひだされます。私達の小学生の頃にも今のテニスコート南半分のところに方屋造りの土俵があり、当時、林田三四郎先生とおっしゃる大変相撲好きの先生からよく指導していただきました。たしか、二・三年生の頃（昭二十一年）だったと思ひますが、ある相撲大会に出場し三位になり、賞として

金一円と大根を貰い戦後の食糧のない時代でしたので、とても嬉しかった記憶があります。そんな事があって、中学（二中）にはいってからも三年間相撲部に籍をおきました。流す汗はまた格別でした。これから、三小のこの立派な土俵を充分生かし、母校の相撲がますます盛んになり、貴重な体験を、後々までも子供達にもたせてやりたいものです。

たのしいすもう

三ノ一 高 木 美 枝

わたしは、先生たちから、すもうのどひょうができるのとき、ききました。そのとき、どんなどひょうができるのか、わくわくしました。できてみると、とてもきれいで、あなもあいていませんでした。

かたやびらきの日、六年と五年の人たちが、先生たちやおじさん、おばさん、六年生の人たちの前で、すもうをしました。わたしは、それを見て、うらやましいなあと思ひました。それは、こんなきれいなどひょうで、いちばんはじめにすもうができるからです。

つぎの日の昼休みに、わたしたちは、男がすもうをするのを見にいきました。どひょうはとてもさらさらして、木はとてもするするとしていました。先生は、しんばんやつくぎの日も、またつくぎの日も男はすもうをしていました。わたしはすもうがうまくなりました。先生にしようといいました。

先生は、「いい。」といってくれました。

男がすもうをするのを見たのも楽しかったけれど、女ですもうをしたのは、もっと楽しかった。

それから、いつもしてきます。体育の日も、学校に来てしました。

このごろは、どひょうができて、毎日、楽しいです。

すもう大会

四ノ五 鬼 塚 喜 隆

ぼくが、先生から、「鬼塚、すもう大会に出る。」と言われたのは、大会の十日ぐらい前のことです。その時とてもびっくりしました。

すもうに出るのははじめてなので、あまり気がすすみませんでした。でも、何日も練習していくうちに、はりあいが出てきて、「出るからにはがんばろう。」と思うようになりました。

いよいよ、試合の日です。団体戦では一勝一敗だったので、「個人戦でも、この調子でいこう。」

と思ひました。

一回戦は不戦勝でしたが、二回戦は同じ三小の人です。「いくら同じ学校の人でも、ぜったいたおそう。」

こんなふうに思ったかいがあつたのか勝ちました。それからがんばって、とうとう決勝戦まで勝ち進みました。

決勝まで来たのだから、せいっぱいがんばろう。」と思ひました。でも、あまりきんちょうしすぎたのか、負けてしまいました。

それでも、最初はあまり気がすすまなかつたのに、二位になれたので、自分としてはよくがんばつたと思ひます。これも、三小の育友会の人たちがりっぱな土俵を作ってくださつたおかげだと思ひます。こんなりっぱな土俵がなかったら、はりあいだつてでこないし、練習もできないで、すぐ負けてしまったことでしょう。

来年も、試合に出る機会があったら、この土俵でいっしょうけんめい練習をして、こんどこそは優勝したいと思ひています。

テレビ視聴の実態

…56.10.6アンケートより… 島三小育友会学級部

▲はじめに▼
お忙しい中、回答をいただきありがとうございます。今回はアンケートの分析、検討までには至りませんでした。だが、集計結果をこちらになつて、今後のテレビ視聴の在り方等について、ご家庭で、ご近所で、学級部会で何等かの話題になり、子どもたちの成長のためだけに役だてていただけたらと思います。

決めさせている	34
別に決めていない	148
計	182

問2見る時間はふつうの日でどれ位ですか。
 ● 30分以内……………4%
 ● 30分60分……………18%

▲集計結果▼
問1見る時間帯は決めさせていますか？
 ● アンケート回数 4
 ● 取数と率 (七四九枚) 84%

- 60〜120分……………41%
- 120〜180分……………27%
- 180……………10%
- 問3見る時間は
- 見すぎと思う……………36%
- ふつうと思う……………50%
- 少ないと思う……………5%
- わからない……………9%
- (見すぎと思うは一年26%からしだいに学年が進むにつれて六年44%に増えている)
- 問4ためになると思われることは
- 質問が悪かったため、回答が多岐にわたるため、回答が5テレビの害と思われることとはどんなことですか (多かつた順に)
- ①目のつかれや近視に……………56%
- ②勉強に身が入らない……………55%
- ③夜ふかしをする……………27%
- ④生活時間が乱れる……………24%
- ⑤注意が散漫になる……………23%
- ⑥読書時間が減っている……………23%
- ⑦悪いことばを覚える……………18%
- ⑧CMを見て買った……………13%
- ⑨言葉使いが悪くなる……………11%
- ⑩断片的な知識が多くなる……………10%
- ⑪悪いまねをする……………8%
- ⑫つまらない歌を覚える……………8%
- ⑬せつないな興味……………5%
- ⑭感情が不安定……………4%
- (学年別順位でみると)
 ● 一年……………(①②③④⑤⑥⑦⑧⑨の順)
 ● 二年……………(①②③④⑤⑥⑦の順)

- 三年……………(②①⑥④⑤の順)
- 四年……………(①②③⑤④の順)
- 五年……………(②①③④⑥の順)
- 六年……………(②①③⑥④の順)
- (学年によって少しずつ、お母さん方の受けとめ方が違ふのがわかります)
- 問6夜七時〜八時のチャンネル権は
- 父……………15%
- 母……………6%
- 子ども……………68%
- 祖父……………5%
- その他……………6%
- (すでにテレビは子どもに占領されているのでしょうか。七割の子どもがその権利をにぎっています。)
- 問7夜七時〜八時の番組を親子で見ますか
- よく一緒に見る……………71%
- 別々に見る……………29%
- ありません……………25%
- ある……………32%
- な……………32%
- わからない……………45%
- (あると回答された方の番組八時だよ……………94名と圧倒的。あとは千差万別の番組名があがっていました。)
- 八時だよ……………が親子でよく見られてる証さでしょう)
- 問9登校前にテレビマンガを見ていますか。

- よく見ている……………9%
- 時々見ている……………32%
- ほとんど見ない……………59%
- 問10ノーマルテレビが有りますか
- ある……………15人 2%
- ①月一回……………8人
- ②週一回……………3人
- ③その他……………4人
- 問11悪い番組に抗議をされたことはありますか
- よくする……………0%
- 時々する……………42人 6%
- したことはない……………94%
- 問12テレビ視聴後、親子で内容等について話し合いますか
- よくする……………3%
- 時々する……………60%
- ほとんどしない……………37%
- 問13テレビ視聴について先生への要望は(多い順)
- ①見る時間を決めてほしい……………
- ②九時すぎは禁止してほしい……………
- ③よい番組を推せんして……………
- ④夕食時は見ないよう……………
- ⑤勉強中は見ないよう……………
- ⑥見る位置を注意して……………
- その他……………
- (先生方からの指導も効果がないとはいませんが、これらのことは、やはり、親がしつけ、指導すべき内容のようには思えません)

▲おわりに▼
①テレビをつけるのも文化、子どもの前でパッと消せるのも文化。
②頭は働かなくとも目だけは働き、神経が働くテレビ、考えることがきらいになるはず。受け身の子等、生活の一部のテレビ、拒否はできない。では？「親子で見、話し、親が「すかん」と言つてやるのが教育」
④ためになる教育番組でも見るだけでは知識のみ。それをもとに創り出すまでに至っていない。考えよう。
※紙面の都合で、分析や指針が出せなかったことが残念です。次回で、会員の皆さんと共に考えていきたいと思っております。
テレビを真に「子どもの味方」にし変えられる方法や、めどがあるはず。今回の結果から考えられた感想や話題になったこと等、学級部員までお寄せいただけたら幸いです。テレビ慣れきつて流されるのではなく、活用の道をさぐりましょう。



◎はじめに

この四月、情緒障害児学級担任の辞令をうけ、その足で長崎大学へ。そこで半年間の研修を終えて、先日やっと着任しました。

幸い、本紙に寄稿の機会を得ましたので、研修報告をかねて、一般にあまり耳慣れない「情緒障害児学級」についてご説明いたします。

◎情緒障害児学級とは

心の動きのなかで、興奮・怒り・恐れなどのような、割合に激しい感情を「情緒」といいます。私たちは、この情緒をうまくコントロールしながら、社会生活や対人関係を円滑にしています。

ところが、ストレスがたまったり、予想外の異常事態に出あうと、自分でコントロールすることができなくなつてかんしゃくを起したり、異常な行動にはしることがあります。この状態を「情緒障害」といいます。

情緒障害児とは、何らかの原因で、そのような状態がある程度長く続いている子どものことです。

ふつう「障害」ということは、視力障害、聴力障害、あるいは精神障害というように、「故障」とか「損傷」と

いった意味でつかわれるのですが、情緒障害の場合は「ゆがみ」とか「みだれ」といった意味をもっています。

ですから、基本的には情緒のゆがみを正してやるのが、情緒障害児に対して必要になってきます。そのための治療教室が情緒障害児学級であるわけです。

この学級の歴史は浅く、昭和四十四年に東京都に開設されたのがはじまりです。現在長崎県下には、島原市を含めて五市七校に設置されていますが、県南地区では、本校だけというように、まだ十分に普及していません。

はいえませんが、また、この学級は中学校に一律級もなく、このことも大きな問題です。

◎交流教育について

一口に情緒障害児といっても、さまざまな症状をもつ子どもがいます。

その中で一番多いのが自閉症児です。そのほか、情緒未熟児や神経症の子どももいます。また、最近問題になってくるのは、登校拒否児や非行児、あるいは、家から一歩外へ出ると一切話をしなくなるかん黙児なども、場合によっては、治療対象になります。

情緒障害児とともに

情緒障害児学級担任 大隅 謙一郎

情緒障害児学級では、こういっただも私たちの障害をひきおこした原因をさぐるために、いろいろの検査をしたり観察をしたりして、その子にあわせた治療計画をたてます。これは、たとえば同じ自閉症といっても、ひとりひとりその症状がちがうからです。しかし、情緒障害児のすべてに共通していることもあります。それは、社会適応がうまくできないという事です。自閉症児は、自分の世界にとじこもって周りには関心を示しません。自分のペースをかたくなに守ろうとします。

りません。しかし、それだけでは不十分ですので、その子の程度にあわせて、普通学級で多くの友だちと接触させて、より効果をあげなければなりません。現在、状態にあわせて、各学級での生活をさせています。そして、その効果は着々とあがっています。学級担任の配慮と、本校の先生方の協力体制に深く感謝したいと思います。それとともに見逃してならないことは、子どもたちの包みこみです。普通学級での情緒障害児のようすは、実に楽しそうです。となりの席の子どもがいろいろんな世話をしてくれたり、遊びの輪の中に入れてくれたり……。

た存在と思いきや、多くの共通点をみつけ出して、仲間意識はぐくんたり、友だちの立場を理解する態度をもつようになると願っているのです。このことは、障害者に対してはもちろんなこと、幼い子どもやお年寄りを含めた、自分たちのまわりのすべての人に対する思いやりの気持ちを育てることにあります。私たちは、障害児の教育を単に、障害児のみに限らず、学校全体の教育の中で広くとらえようと考えているわけです。

◎おわりに

学校と家庭のスクラム、さらにそれを包みこんで支えていく地域社会、これらの力がきつちりと組みあわさったとき、真の障害児教育となるのではないでしょうが、情緒障害児とともに歩きはじめ、まだ一月足らず。ご父兄の皆様のご理解を熱望いたします。



が ん ば

(5)

「多い夫婦同伴の出席者」

三年目を迎えた町内訪問

育友会事務局 織田 丈治

生活部と教養部の主催による町内訪問も三年目を迎え、各町内とも活発な意見が出され、学校での昼間の懇談会にみられない活発さがみられた。学校からは学校長、教頭、担当の各先生が出席され、難問に対して適切な答弁がなされ、育友会員からの感謝の言葉も聞かれた。

「校長先生、育友会長さんとひざをまじえて話しができて楽しかった。」「先生、年に一回ぐらいいはこがん会はよかよ。先生方は毎晩毎晩ひろがるばってん。」「学校では言いにくいことでも町内では言い腹ん中がスツツとした。」「等の声も聞くことができ有意義な会でありました。

特に学校と町内、学校側と会員皆様とのつながりが深まり、学校教育により高い関心をもち、学校に協力することは高く評価してよいのではないでしようか。

今年めだったことは夫婦同伴の出席者が増え、家庭教育は父親、母親の一貫した教育が望まれることを物語っていると。各町内の出席状況は次表の通りです。

月日	曜	町内	場所	参加人員	備考
7.28		中組	高見宅	9名	男子3名
7.31		白土船津下	消防小屋二階	14名	男子3名
8.4		坂上	藤田宅	19名	男子7名
8.5		栄町	白山公民館	15名	男子5名
8.19		下川尻	下川尻公民館	29名	男子2名
8.20		白土船津上	竹村宅	10名	男子0名
8.22		湊新地	白山公民館	10名	男子1名
8.25		川尻	吉田宅	19名	男子0名
8.26		姪子鼻	姪子鼻教会	8名	男子1名
9.3		霊南	成瀬宅	26名	男子6名
9.7		南下川尻	南下川尻公民館	23名	男子3名
9.8		桃山	児童館	10名	男子0名
9.9		坂下・八幡	第三小学校	14名	男子0名
9.10		崩山	稲田宅	17名	男子2名
9.11		姪子町	浦田保育園	23名	男子9名
9.16		広馬場	第三小学校	11名	男子4名
9.17		新山西	下の湯	17名	男子3名
9.18		浦田下・元船津	橋村宅	29名	男子2名
9.19		浦田船津上	浦田保育園	23名	男子3名
9.21	月	緑町	小松宅	20名	男子4名
9.22	火	津町	珠林宅	13名	男子3名
9.23	水	新山東	第二中学校	31名	男子6名
9.25	金	南風泊	谷口宅	11名	男子2名
合 計				401名	69名

○ 主な懇談内容
 一、家庭における子どもの教育しつけについて
 ・家庭でのしつけの点検活動について

・あいさつ運動、礼儀作法
 ・親子のふれあいの大切さ
 ・物を大切にしない
 ・整理整頓が悪い
 ・「はい」「いいえ」の返事ができない。

・がまんする力がない
 ・きまっただ手伝いができない
 ・親の物の与えすぎ
 ・親の過保護・過干渉
 二、読書について
 三、非行について
 四、家庭学習について（塾の問題）
 五、テレビ視聴について

○ 主な要望事項
 一、育友会に対して
 ・夏休みに実施する行事がすこし多すぎる。
 ・ソフトボールの練習時間や練習方法に問題があるようだ。
 ・合併は計画的にやってみて欲しい。
 ・親子フットベースボールは非常に有意義であった。親子でできるものを考えるようにして欲しい。
 ・通学路の点検整備、子どもの遊び場の点検も必要ではないだろうか。

二、学校に対して
 ・施設面、指導面、その他多くの要望事項がありましたので別紙プリントで全職員に配布し、できるかぎり皆様のご期待にそうようにするのを協議いたしましたので紙面の都合上、省略いたします。

ソフトと広報板

栄町 小島 健 一

育友会の行事には、全く参加経験のない私のところに、町内育友会長という重責が廻って来て、はや、七カ月が過ぎ去りました。

先輩の役員の方々が、行事のたびにあちこちと走り廻って苦勞されていることは、見聞きして知っていました。私自身もいろんな雑用ばかりが多く、育友会の行事には参加していませんでした。どんな行事があり、どうしたらよいか、全く五厘霧中、とても出来るものではないと思いましたが、成瀬、迎、下田さんらの先輩代議員も残っておられるし、何でも一緒にやるからとの説得で、やっと決心しました。

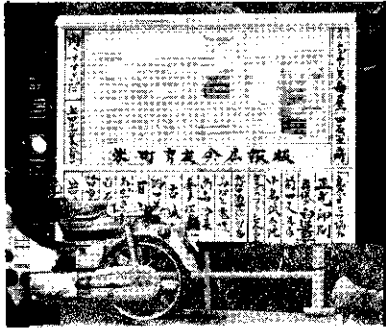
育友会のなかでも、特に体育行事の占める割合は大きいようですので、四月からは、少しはルールの解るソフトボールの練習に顔を出すようにしました。

ソフトボールの指導は、ベテランの迎さんが担当されていましたので、引き続き監督をお願いしたのですが、一つの障害は練習場の問題です。二中も三中も他の町内と一緒にになりません、特に二中では中学生のクラブ活動がありますので、思うように練習できません。

この頃、給食センターの前に広い空地があり、ここを借りたらとの話があり、行ってみますと、ソフトはもちろんフットベースも一緒にやってもある広さです。

是非利用させてもらおうと地主さんを調べてみますと、片山さんら約八人の名前があがってきました。

「現状のまま空地となつて



いる期間だけでも利用させて下さい」と、成瀬さん、迎さんと一緒に一軒一軒お願いに廻ったところ、「子どもたちのためだから」とほとんどの人が心よく了承して下さいました。

五月十七日は町内育友会、子ども会総出で、グラウンド整備です。慣れぬ作業に親子揃

って奮闘した結果、なんとか使えそうになり、六月七日は、林田、上田両氏のご厚意も得て土や砂を入れました。

その後、毎日のソフトとフットベースボールの練習のほか、ラジオ体操の会場としても、誰はばかりのことなく利用出来、子ども達の健全育成、非行防止に役立ったと思います。もう一つ、今年完成したのが、育友会専用の広報板です。五十五年度からの継続事

道徳研究発表会のお知らせ

本校の道徳教育研究発表会がいよいよ十一月十一日(水)に開かれることに決定しました。当日は授業の公開と長崎大学教授水田先生の講演もあります。県下からたくさん先生の先生方も参加されますが、御父兄の皆様もどうか万難を排して参観されて、我が子の晴れの舞台での授業ぶりを御覧になつて下さい。

研究会の日程は次のよう

- 知らせたいします。
- 一校時 九、〇〇、九、四五
 - 二校時 十、〇〇、十、四五
 - 低・中・高学年別研究会 十一、〇〇、十一、十五
 - 全体研究会 十三、十五、十五、一〇
 - 講演 十五、一〇
 - 演題「態度の人間」 十六、二〇
 - 長崎大学教授 水田善次郎先生

編集 後記

六十三号をお届けします。先生方や皆様から沢山の投稿をいただき、ご協力に心から

感謝申し上げます。次号は十二月に発行の予定です。各町内、学級育友会の活動も紹介します。ご希望でもあれば、ぜひ広報部までお寄せ下さい。

下川尻と新山西が優勝

町内育友会 対抗バレー

体育部長 山下利秋
去る十月十八日(日曜日)町内対抗バレーボール大会を開催致しました。

先生方より二チーム、新山東二チーム、計十七チームで昨年より一チーム多い参加でした。予戦リーグを三小と二中で、午後から、三小体育館で決勝トーナメントを行いました。

成績は次の通りです。

- Aパート
- 一位 下川尻
 - 二位 蛭子町
 - 三位 新山東
 - 三位 崩山
- Bパート
- 一位 新山西
 - 二位 新山東B
 - 三位 南風泊
 - 三位 津町

